

1.臨時社員総会・懇親会のご報告

2023年度臨時社員総会が開催された模様をお知らせ致します。

2024年1月19日臨時社員総会が、アートホテル日暮里ラングウッドにてハイブリット形式（リアル&オンライン）にて行いました。

第一部は審議事項として第1号議案 会員及び空調・厨房両診断士増強運動について高橋専務理事より説明され、第2号議案 来期事業計画案を高橋専務理事より、来期事業予算案を清水会長よりが説明され審議後それぞれ異議なく承認されました。

報告事項として、1.空気清浄度委員会再開に向けて、2.建築物環境衛生セミナーについて、3.厨房ダクト火災抑制パンフレット作成について、4.政策委員会のご報告、5.ビジネスモデル委員会のご報告、6.日台技術交流会のご報告が各担当理事より説明されました。

第二部は「フード等用簡易自動消火装置の点検清掃について」、(株)セコムアルファ小栗様、東亜電設(株)中川様よりご講演頂きました。

厨房排気ダクトを清掃する際に見かける排気フード内のノズルやセンサーの清掃や自動消火装置の点検清掃の重要性を会員企業・関連団体など広く周知し、会員企業の新たな営業の切り口となるよう推進していきたい所存です。

第二部終了後、懇親会前に名刺交換の時間を設け、会員同士名刺交換致しました。懇親会では大庭常務理事の乾杯のご発声頂き、名刺交換の効果かいつもより会員同士の交流が深まり盛会のうちに終了いたしました。



2. JADCA 2024年1月～3月 活動報告

日時	内容	会場
1月17日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目研修	オンライン開催
1月18.19日(木金)	第50回建築物環境衛生管理全国大会 末光副会長発表	日本教育会館一ツ橋ホール
1月30日(火)	厨房委員会 ワーキンググループ	浅草観光文化センター会議室
2月1日(木)	空気清浄度委員会	JADCA 事務局会議室
2月13日(火)	評価認定委員会	JADCA 事務局会議室
2月15日(金)	JADCA セミナー 住宅の空気環境	浅草橋ヒューリック&カンファレンス ハイブリット開催
2月20日(火)	ビジネスモデル委員会	オンライン開催
2月21日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 2年目以降研修	オンライン開催
2月29日(木)	JADCA 東北支部支部会	仙台協立第2ビル 2階第3会議室
3月4日～6日 (月～水)	NADCA35周年記念式典・総会・展 示会 清水会長、山田理事参加	アメリカネバタ州ラスベガス
3月6日(水)	総務委員会	JADCA 事務局会議室
3月25日(月)	総務省消防庁点検技術評価会議 花木専務理事参加	総務省消防庁会議室
3月27日(水)	評価認定委員会	JADCA 事務局会議室
3月27日(水)	ビル空気環境表彰制度 最終審査委員会	JADCA 事務局会議室
3月28日(木)	環境経営委員会	JADCA 事務局会議室

3. JADCA 2024年4月～6月 活動計画

日時	内容	会場
4月17日～19日 (水～金)	IKECA 総会・展示会参加	アメリカフロリダ州オーランド
4月18日(木)	空調システム診断士更新研修	オンライン開催
4月24日～25日 (水～木)	理事会地方開催 (山形)	山形 天童ホテル
4月24日(水)	ビジネスモデル委員会 地方開催 (山形)	山形 天童ホテル
5月13日(月)	総務委員会	JADCA 事務局会議室
5月16日(木)	空気清浄度委員会	JADCA 事務局会議室
5月17日(金)	厨房委員会 ワーキンググループ	浅草観光文化センター会議室
5月21日(火)	東西関東支部 懇親ゴルフコンペ	ゴールド佐野カントリークラブ
5月29日(水)	㈱タムラカントウ様 会社見学会	㈱タムラカントウ本社 千葉県
6月5日(水)	支部会議	アートホテル日暮里ラングウッド 会議室
6月5日(水)	定時社員総会 ビル空気環境表彰 表彰式	アートホテル日暮里ラングウッド

4. 事務局からのご連絡

日本空調システムクリーニング協会主催 建築物環境衛生セミナー

住宅の空気環境 とダクト清掃

令和6年
2/15(木)
14:00～16:45

工学院大学 教授 **柳 宇 氏**
株式会社アスカサービス **村田 恒治 氏**
日本ウイントン株式会社 **清水 晋 氏**

ダクト内部の汚れによるトラブルについてのセミナー

YouTube 配信しています！
チャンネル登録！
いいね！
高評価お願いします。

2月15日に開催いたしましたJADCA建築物環境衛生セミナーの動画をJADCAホームページのトップページ画面に掲載いたしました。自由に閲覧できる状態にしておりますのでクリックして頂きご覧ください。

<https://www.jadca.jp/important/article-904/>

- 1部 住宅の空気環境の現状と問題点
工学院大学 教授 柳 宇 氏
- 2部 マンション換気ダクト清掃の実例
㈱アスカサービス 村田 恒治 氏
- 3部 戸建住宅空調ダクト清掃の事実例
日本ウイントン(株) 清水 晋 氏

会員企業会社見学会 株式会社タムラカントウ



会員企業の株式会社タムラカントウ様のお好意で会社見学させていただきましたこととなりました。
あらゆる種類のダクトの製作・施工をされている企業です。

募集人数：15名
*先着順とさせていただきます。
定員になりましたら締め切らせて頂きます。参加ご希望の方は事務局へお申込み下さい。

日時：5月29日（水）

集合：JR京葉線 稲毛海岸駅 南口稲毛海岸駅前交番付近 14:00

〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港 223-2 TEL:043-246-2751 (代)

ダクト清掃作業監督者講習（新規・再講習）

建築物衛生法において、建築物空気調和用ダクト清掃業の登録要件の一つになっているダクト清掃作業監督者資格のための講習です。

この講習の主催は公益財団法人日本建築衛生管理教育センターです。

詳細は、同センターにお問い合わせください。

	講習期間	講習会場	受付期間
新規講習	2024年 9月17日(火)～9月20日(金)	ワイム貸会議室高田馬場 東京都新宿区高田馬場 1-29-9TDビル3階	2024年 7月25日(木)～7月31日(水)
再講習	2024年 8月26日(月)～8月27日(火)	三田国際ビル1階 東京都港区三田1-4-28	2024年 7月4日(木)～7月10日(水)



2024年度・2025年度 会員企業数の増加・認定診断士資格者の 拡充運動をスタートします！

【JADCA 会員企業数の増加】

JADCAは『人と建物の健康、そして環境の健康』を創造すべく、2024年度から共に歩む企業・団体・個人事業主を幅広く、そして強力に募集します。

現状、JADCAには数の力が足りていません。その力を会員企業の皆様の周りにいる方たちに声を掛けていただき、会員数増加を進めて行ければと思います。

『空調システムと厨房排気システムの清浄化事業』は非常に重要な建物管理のひとつとなり、当該事業の健全な成長・更なる発展を進める為、会員企業の皆様の協力を頂き、会員募集・会員拡充活動を活発に展開することにしました。

年会費 (2024年度/2025年度の特別運用：体験的入会制度 年会費特価)

※パートナー会員 年会費 36,000円 (2年間限定)

※個人会員 (法人格が無い個人事業主) 年会費 12,000円 (2年間限定)

【JADCA 認定診断士資格者の拡充・養成】

JADCA 認定診断士は、空調設備・厨房排気設備の健康状態の評価や汚染診断結果を正確に報告できる技術者育成を目的に JADCA が認定する資格者です。

認定診断士はその高い専門性により『安心安全なビル環境』の維持を求めるビルオーナーやビル管理者にとって必要不可欠な存在となりますが、認定診断士を全国に幅広く配備するところまでは未だできていない状況です。2024年度は協会を挙げて積極的に診断士を増強し認定診断士の価値を上げて行ければと考えております。

□空調システム診断士

空調システム全体の健康状態 (汚染・劣化) を知識と専門的な技術をもとに評価診断し、適切なメンテナンスを立案出来る技術者

□厨房排気設備診断士

ダクト火災発生の起因とされる厨房排気ダクトの健康状態 (汚損・劣化) を火災リスク・美観・衛生環境・能力維持などの様々な観点から総合的に評価診断出来る技術者

各診断士研修費用 (2024年度/2025年度の特別運用：診断士研修限定)

※受講条件なし ※研修期間 2日間

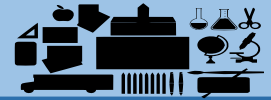
※会 員 通常 35,000円→15,000円 (2年間限定)

※非会員 通常 45,000円→20,000円 (2年間限定)

この機会をお見逃しなく！



はかるという仕事 (前編)



空調診断士の研修講師を務めて約 10 年になる。私は、昭和 45 年に東京都健康安全研究センター（都立衛生研究所）に研究職として採用され、それ以来、同一職場、同一職種で、おおよそ 35 年間、各種の測定業務（大気汚染物質、変異原物質、アスベスト、環境ホルモンなど）に携わってきた。それらの仕事を通して、「はかるということ」とは何か、測定の意味することを深く考える機会があった。そうした経験からお話したい。〈はかる〉仕事は現代社会のあらゆる職場、職種に及んでいる。たとえば、健康診断の測定や病院での血液検査から、住宅や土地の測量、税金の徴収、ダイエット中でのヘルスマーターまで日常生活のあらゆる場面で、人間は〈はかる〉ことに余念がない。健康診断などの測定値は、基準値（医療統計の平均値±2標準偏差値）に比較しての評価が容易であるのに対して、専門分野のデータや行政官庁が公表する数値の評価は難しい。中央公論新社の「〈はかる〉科学」には、たいへん興味深い内容が書かれている。現行のメートル法は、肘から中指の先までの長さ（キュービット）の 2 倍のスケールから作られていることを知る人は少ない。

1. 空気の汚染をはかる

昭和 40 年から 50 年頃は、公害問題の真只中で、大気・河川・海洋などで汚染がピークを迎えていた時期である。室内汚染も深刻で、オフィスビルの空気汚染をはかる仕事が最初の現場であった。当時のビルの空気汚染は、現在とは桁違いの汚染状況であった。室内喫煙は当たり前の慣習で、オフィス内でも、公衆現場環境でも全く自由で、何の規制もなかった。室内の人口密度も過密で、人が吐き出す炭酸ガスにより、オフィス内の濃度が、1000ppm を超えることは珍しいことではなく、1 時間もそこにいると頭が痛くなるほどだった。立ち入り検査によって、そうした汚染を監視し、行政指導を行うのが、東京都の環境衛生監視員の役割であった。

2. 空気の微生物をはかる

空気汚染の一つである細菌やカビなどの汚染問題が、レジオネラ感染症の発生をきっかけに起きてきた。人が有する常在細菌とか、ビル環境が発生源であるカビが健康に影響を与える、いわゆる「シックビル症候群」が明らかになってきた。こうした状況で、1995 年に「空調システム清浄度評価委員会」を JADCA で立ち上げた。そもそも微生物を測定することは、他の汚染物質をはかるのと根本的な違いがある。目に見えない細菌やカビなどを可視化して、定量的に数値化するにはいくつもの越えなければならないハードルがある。まず、微生物の培養（カルチャア）ができるか、それらの培地の選定、空気の採取装置（エアースンプラー）の選定など、採取に伴う技術をマスターしなければならない。そうした条件をクリアしたうえで、はじめて汚染の評価ができる。最後の難関は、空気の清浄度をどういう基準をもとにするかである。そうしたなか、JADCA では、「空調システム清浄度評価委員会」を立ち上げ、各種の調査・検討を実施した。そうして、都内のビル調査をもとに、カビ汚染をビルの清浄度として判定する「JADCA スタンドアード規準」を公表した。現在、空調システムの診断に使われている清浄度の目安である浮遊カビの数値は空調吹出口で、30 個/立方メートルとなっている根拠は、都内ビルを対象として、清掃前後の微生物量測定環境調査の成果である。

***紙面の都合上前編はここまでとさせていただきます。後編は7月号にて掲載させていただきます。**

- 1) 上孝・後藤武：〈はかる〉科学—計,測,量,謀・・・〈はかる〉をめぐる 12 話
(中公新書 1918) (2007)
- 2) 和田純夫他：新・単位がわかると物理がわかる (ベレ出版) (2014)

事務局 etcetera (エトセトラ)

少年野球 (学童野球)

令和の少年野球は昭和の少年野球とは違うのかと思っていました。小学校2年生の夏娘が突然野球をやりたいと言ってきました。高校まで野球をやっていた自分にとっては嬉しい話ではありましたが、現代の野球環境がどの様なものか、また、男子に混ざってやっていくのは非常に大変ではないかと思い、一度一緒に見学に行ってみようかと話をしてみに行ってみました。

そこには27.8年前に自分が少年野球をやっていた当時の光景があり、チームに女の子1人という事もあって姫のように扱われる娘の姿がありました。これならやっていけるかと思い、チームに入団しました。

始めたのはいいですが、ボールが怖いらしく、ゴロでもフライでもキャッチボールのボールも避けてしまい、なかなか上達しません。何かきっかけがあればと思っていましたが、3年生で低学年大会に参加した時も、4年生で低学年大会に参加した時も公式戦でレギュラーとして使ってもらっていましたが、試合中でもボールから逃げていました。1つ目の転機としては5年生になった時に4年生の女の子が入団してきた時ではないでしょうか。やはりお姉ちゃんになった気持ちになったのか、教える立場になったからかはわかりませんが、徐々に上達していく娘の姿がありました。そして完全に上達したのは5年生の終わりに女子チームに参加できた事で大きな変化が感じられました。同い年の女の子達とプレーする事により、今までチームメイトや監督、コーチに甘えていた部分が無くなったように感じました。5年生までは気持ちの問題だと自分は思っていたのですが、試合が始まる前によく、「お腹が痛いや、腕が痛い」等と言って試合に参加しない事も多かったのですが、6年生になった頃には試合にも積極的に参加し、平日や練習後も近所の公園で練習がしたいと言ってきました。周りの人間がどんな言葉をかけてもなかなかやる気を出してはくれませんでした。環境や置かれた立場が彼女を成長させたのだと思います。



先日、退団式があり、レクリエーションの1つとして親の投げたボールを子供が打つ親子対決がありました。少し前まではもっと「ゆっくり投げて」と言っていた娘が逃げもせず全力でバットを振ってくる姿を見て4年半の少年野球の経験がここまでになるのかと、非常に嬉しく思いました。

仕事においても環境の変化、置かれた立場で大きく成長する人は多いのではないのでしょうか。



毎日が慣れた仕事の上でダラダラしていてもなかなか成果は得られないものです。本人がそれに気付いてあげるように仕事内容や、会社内でのポジションの変更等の刺激を与えてあげる事で大きな成果をあげてくれるように導いていくのも、仕事の一つかと思えます。

娘が野球を始めた頃は教えてあげるぞと思っていましたが、4年半の時間を共に過ごす事によって自分自身も大きく成長できたように感じます。面と向かって言う事は恥ずかしくてなかなかできませんが、「ありがとう」と娘に伝えたいと思います。

written 渡邊和啓 (所属会社：㈱ジャパントーア)

定時社員総会ビル空気環境表彰 表彰式の予告

- 1.日時 2024年6月5日(水) 14:00～ 13:30 受付
- 2.場所 アートホテル日暮里 ラングウッド JR日暮里駅徒歩3分
- | | | | | |
|--------|-----------|----|------|--------|
| 定時社員総会 | ビル空気環境表彰式 | 5階 | ルーチェ | 14:30～ |
| | 懇親会 | 2階 | 孔雀 | 17:00～ |

編集後記

いよいよ2024年度のスタートとなります。今年度も会員企業の発展、業の発展を目指し様々な事にチャレンジしていきます。活動としては、空気清浄度委員会の再開を始め、会員数増強運動、診断士数増強運動、各委員会の拡充、支部会の活性化等、前年度以上に進めて行ければと思います。また、6月には定時社員総会と共にビル空気環境表彰では大賞ビルが決まります。会員企業の皆様におかれましては、是非ともJADCAの活動にご参加いただければと思います。



JADCA 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋 1-12-9
新橋プレイス7階 ビジネスエアポート内
TEL : 03-6274-6064 FAX : 03-6274-6065
E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>